

---

## 国際短編映画祭代表の俳優 別所哲也氏 『るろうに剣心』シリーズの映画監督 大友啓史氏 東北芸術工科大学の客員教授に着任

---



東北芸術工科大学（山形市上桜田／学長 中山ダイスケ、以下本学）では、本年4月1日より映像学科の新コースとして「映像クリエイションコース」を発足させました。コース長には、元 Amazon Prime Video オリジナルコンテンツ制作責任者を務めた早川敬之教授が就任します。また、主に同コースにおいて、コンピューティングの力を最大限に活用した映像製作の学びを推進するため、俳優の別所哲也氏と映画監督の大友啓史氏の2名が本学デザイン工学部の客員教授に着任いたしました。

別所氏は、ハリウッド映画『クライシス 2050』でデビュー後、独自の演技メソッドを確立した日本を代表する俳優であり、日本発の国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」を主宰して若手育成を続けています。また大友氏は、NHKで『龍馬伝』等を演出したのちに独立し、映画『るろうに剣心』シリーズで時代劇の枠を超える高速アクションと濃密なドラマを両立させ世界的な大ヒットを記録した、日本を代表する映画監督です。それぞれ、日本の最前線でエンタメを構築してきた第一人者です。

このたび発足した映像クリエイションコースでは、別所氏がカメラの前で表現する力や「パフォーマンスの本質」を指導し、大友氏は、最新の演出術の本質や、ハリウッド型アクション撮影技術などDX化された新世代映像クリエイションの実践知を開示します。

つきましては、新コースの発足に伴う両氏の客員教授着任と同コースとの関わりについて広くお知らせ頂きますようお願い申し上げます。

### **別所哲也氏 コメント**

俳優としてハリウッドで日米合作映画で映画デビューするチャンスをいただき、演技論、そしてエンターテインメント事業を法務や財務を含めてどのように向き合うべきかをグローバルに経験することから僕自身のキャリアはスタートしました。

「人生はオーディションであり、どうキャスティングされるか？がカギだ。」

「KNOWHOW(ノウハウ)は身に付けろ、しかしKNOWWHO(ノウワー)誰と出会い仲間になり何を創るか？が大切だ！」とハリウッドで教えてもらいました。

俳優 ACTOR は、演技者の前に、ACT 行動するヒト。

また、ハリウッドデビューをきっかけに、スター・ウォーズのジョージ・ルーカス監督と彼のショートフィルムに出会い、国際短編映画祭「ショートショート フィルムフェスティバル & アジア」をプロデュースしています。世界のクリエイター、映像作家、俳優たちと交流しています。

ヒトはモノガタル存在です。

東北から世界へ！今回新たにキャンパスでどんな出会いと発見があり、どんなモノガタリを産み出していくことになるのか？楽しみです。

俳優／国際短編映画祭 代表 別所哲也

### **大友啓史氏 コメント**

すべてのコミュニケーションが、当たり前のように映像を通して交わされる時代になりました。

NETFLIX に代表されるネット配信の隆盛等によって、若い創り手たちにとってのチャンスも、かつてないほど大きく拡がりつつあります。世界に向けての挑戦。それは決して夢物語ではありません。そしてそのプロセスは、自分自身が何を表現したいかを見つめることから始まります。

東北芸術工科大学という、クリエイションにはこれ以上ない環境とその磁力から生まれる才能の一助になれるよう、微力ですが尽力したいと思います。映像の道を志す多くの若者たちとお会いできることを、心より楽しみにしています。

映画監督 大友 啓史

### **早川敬之 デザイン工学部 映像学科 映像クリエイションコース長コメント**

映像クリエイションコースでは、映像技術の習得に留まらず、新たなテクノロジーを最大限に利用する最先端のデジタル技術や、身体表現を用いた「パフォーマンスアーツ」を学ぶことで、感情を揺さぶる映像表現を追求する新機軸を導入します。実写映像表現を学ぶ学生にとって、カメラの前で表現する力を別所さんのような当代随一の俳優から直接学ぶことは値千金です。また、デジタル時代に世界で通用する映像制作を目指す学生に対して、映画制作の日本の第一人者である大友さんから、最新の演出術の本質を伝授していただきます。

### ■別所 哲也(べっしょ・てつや)プロフィール

1988年慶應義塾大学法学部卒業。1990年日米合作映画『クライシス 2050』でハリウッドデビュー。米国俳優協会(SAG)会員。1999年より日本発の国際短編映画祭『ショートショート フィルムフェスティバル & アジア』を主宰し、若手映像作家の支援・育成を続けている。観光庁「VISIT JAPAN 大使」や東京観光大使などを務め、インバウンド観光のキー・パーソンでもある。近年の表現領域は伝統的な舞台や映像に留まらず、Web3 コンテンツ制作や大規模言語モデルによる映像生成にまで及ぶ。2026年4月より、東北芸術工科大学 客員教授。

### ■大友 啓史(おおとも・けいし)プロフィール

1966年岩手県盛岡市生まれ。1989年慶應義塾大学法学部卒業後、NHKに入局。2009年、映画『ハゲタカ』で映画監督デビュー。大河ドラマ『龍馬伝』の演出を経て独立し、映画『るろうに剣心』シリーズで興収200億に迫る大ヒットを記録。『3月のライオン』シリーズや全編岩手撮影の『影裏』など、東北地方を舞台に世界へ映像発信をすることに並々ならぬ情熱を持つ。Netflixなどのインターネット配信の需要を知悉する、デジタル化する業界構造との接点を構築する稀有なクリエイター。2026年4月より、東北芸術工科大学 客員教授。